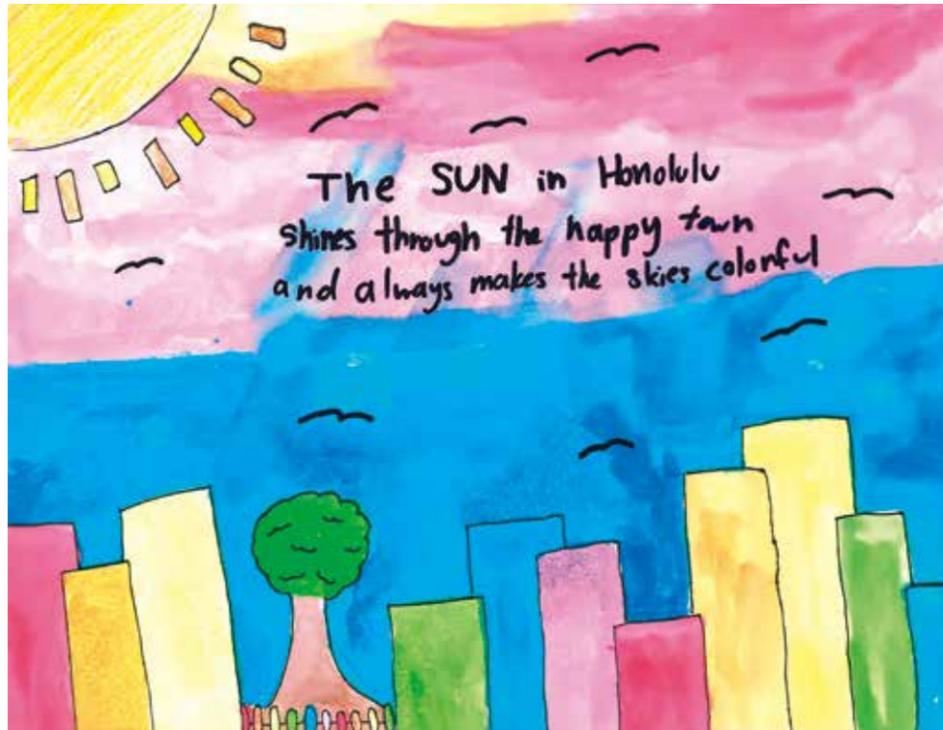


三行詩と絵に思いを込めて **世界こどもハイクコンテスト**



The SUN in Honolulu shines through the happy town and always makes the skies colorful
 ホノルルの太陽 幸せな街のすみずみを照らして いつも空を色鮮やかにしてくれる
 Lino Yamamoto (11歳・アメリカ)

世界中の言葉で
紡がれる『わが街』

「ZEN」「UMAMI」といった言葉と並び、世界でお馴染みとなった「HAIKU / ハイク」。そう、五七五で詠まれる日本の「俳句」は、いまや世界各地にファンが存在する「三行詩」という芸術なのです。

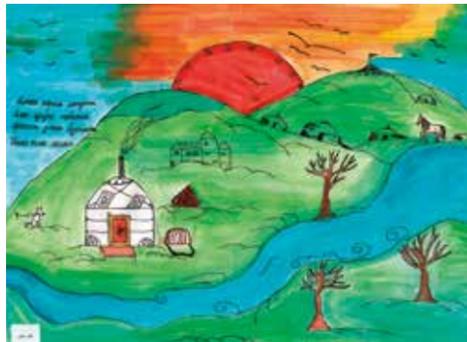
その「ハイク」を通して子どもたちが感性を養うことで、日本文化と現在の日本への理解を深めてもらいたい……そんな思いから、JAL財団では2年に一度、日本および全世界に暮らす15歳以下の子どもたちを対象に、絵とハイクで構成された作品を募集する「世界こどもハイクコンテスト」を開催しています。第17回大会には新たにガーナとモザンビークが加わり、54の国と地域の子どもたちから力作が寄せられました。



第17回のテーマは「まち」。子どもたちの母語で書かれた三行詩とイラストからは、彼らが暮らす街のざわめきや色合い、季節の移ろいなどが、生き生きと立ち昇ってくるようです。コロナ禍を経て、今まで見過ごしがちだった身近な風景に目を向け、穏やかな暮らしについて考えをめぐらせた子どもたちも多かったのではないのでしょうか。

コンテスト優秀作品は、現地語に日本語訳と英語訳を加え、『地球歳時記』という絵本にまとめられます。また、JAL財団では「俳句の作り方」という冊子を18の言語で作成し、Webサイトに掲載しています。ハイク作りにご興味をお持ちの世界のお友だちに、ぜひお薦めください。JAL財団とJALグループは、世界に広がるハイクの輪が、国際交流の一助となることを願っています。

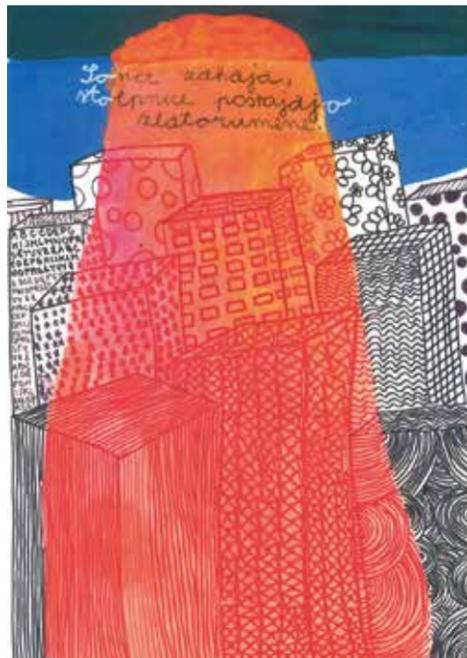
今回のテーマに該当する目標



Altan нар мандаж Алаг цацгас найгана Аргадын утаа бургилж, Шинэ өглөө эхэлнэ
 黄金の日が昇る
 花が風に揺れ、乾燥糞の煙が上がリ
 新しい朝が始まる
 Гантулга Хонгорзул (14歳・モンゴル)



Түгжралд түргэн нисмээр Түвшин амар Гэртээ харимаар
 渋滞中
 びゅーんと飛んで
 無事に家に着いたらなあ
 Хулан Жадамба (10歳・モンゴル)



Sonce Zahaja, Stolpnice Postajajo Zlatorumene.
 夕日が 高層ビルを 黄金に染める
 Tinkara Tušar (14歳・スロベニア)



Songs of the trees green leaves shining— Barcelona.
 木々の歌 青葉かがやく バルセロナ
 亀川 南帆 (12歳・スペイン)

『地球歳時記』
プレゼントの
お知らせ



このページをご覧の方のなかから20名様に、コンテストの優秀作品をまとめた『地球歳時記 Vol.16 スポーツのうた』を抽選でプレゼントします。ハガキに住所・氏名・年齢・電話番号を明記のうえ、2022年9月5日(月)(当日消印有効)までに下記へお送りください。〒140-8588(住所不要) JALブランドコミュニケーション「SKYWARD 8月号 スポーツのうた」係 ※ご応募いただいたお客様の個人情報は、賞品発送にのみ利用いたします。当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

モンゴルから
お便りが
届きました!



応募作品をずらりと並べて審査を行います。



ナラン学校で全作品をお披露目。



5月19日に対面での表彰式も開催しました。

JAL財団Webサイトから詳細をご覧ください。www.jal-foundation.or.jp



2015年9月、全国連加盟国(193カ国)により「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals: SDGs)」が採択されました。2030年までに、貧困や気候変動、平和的社会などの17の目標を達成すべく、JALグループも社会の課題解決に取り組んでいきます。